

インデックスオープン・日経225 (旧ファンド名称：Pay Pay投信 日経225インデックス)

追加型投信／国内／株式／インデックス型

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンドを中心に投資し、わが国の株式に実質的に投資を行い、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年3月6日～2026年3月5日

| | | |
|---------------------|---------------|----------|
| 第5期 | 決算日：2026年3月5日 | |
| 第5期末 (2026年3月5日) | 基準価額 | 20,668円 |
| | 純資産総額 | 5,626百万円 |
| 第5期 | 騰落率 | 49.6% |
| | 分配金合計 | 0円 |

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

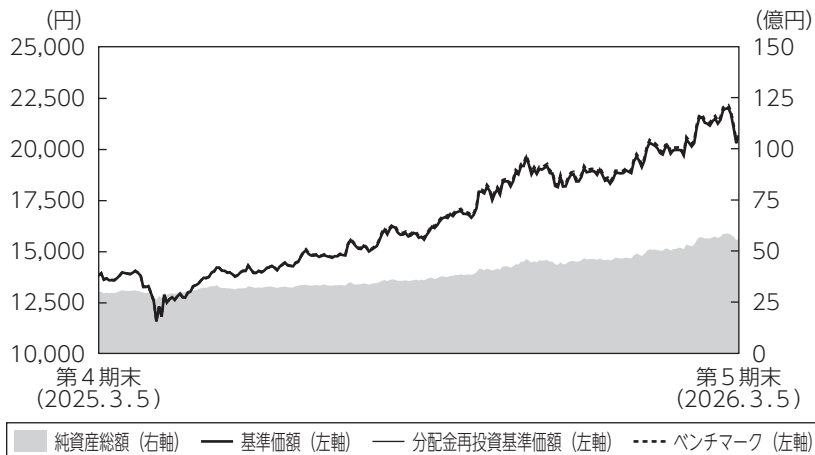
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第5期首：13,811円
 第5期末：20,668円
 (既払分配金0円)
 騰落率：49.6%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（日経平均トータルリターン・インデックス）は、期首の基準価額に合わせて指数化していません。なお、ベンチマークについては後掲の<当ファンドのベンチマークについて>をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

日経225インデックスマザーファンド受益証券およびインデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内株式への投資を行った結果、市況が上昇したことなどから、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第5期 | | 項目の概要 |
|-------------|---------------------------|---------|--|
| | (2025年3月6日 ～2026年3月5日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 24円 | 0.143% | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,561円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (投信会社) | (6) | (0.038) | |
| (販売会社) | (14) | (0.082) | |
| (受託会社) | (4) | (0.022) | |
| (b) 売買委託手数料 | 6 | 0.038 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料 |
| (株式) | (5) | (0.028) | |
| (先物・オプション) | (0) | (0.002) | |
| (投資信託受益証券) | (1) | (0.009) | |
| (c) その他費用 | 0 | 0.002 | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.002) | |
| 合計 | 30 | 0.183 | |

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

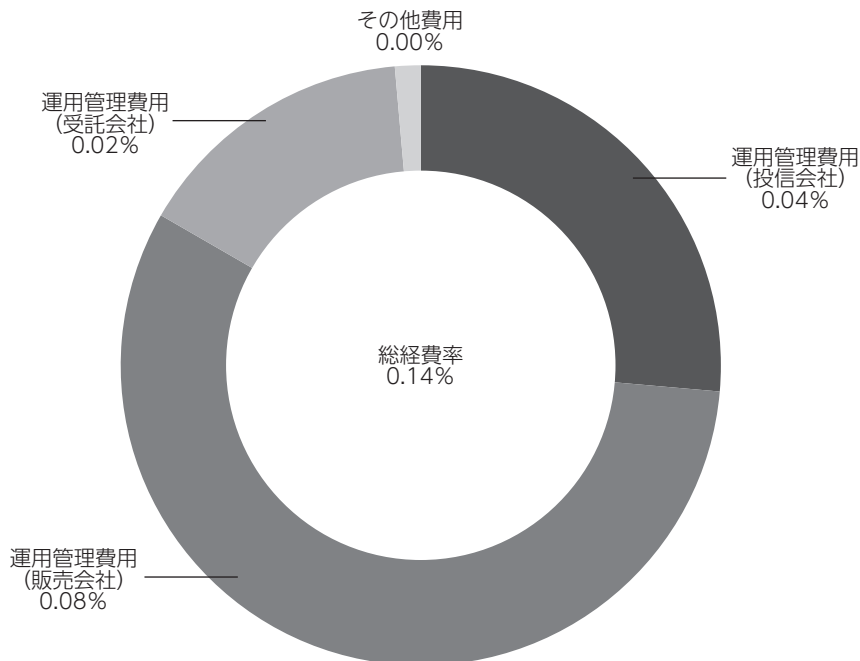
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.14%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は設定日前日を10,000として、ベンチマーク（日経平均トータルリターン・インデックス）は設定日を10,000として指数化しています。

| | | 2021年3月8日 設定日 | 2022年3月7日 決算日 | 2023年3月6日 決算日 | 2024年3月5日 決算日 | 2025年3月5日 決算日 | 2026年3月5日 決算日 |
|----------------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (分配落) | (円) | 10,000 | 8,821 | 10,045 | 14,552 | 13,811 | 20,668 |
| 期間分配金合計 (税引前) | (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率 | (%) | — | △11.8 | 13.9 | 44.9 | △5.1 | 49.6 |
| ベンチマークの騰落率 | (%) | — | △10.8 | 14.5 | 45.0 | △5.0 | 50.6 |
| 純資産総額 | (百万円) | 1 | 461 | 785 | 1,793 | 2,984 | 5,626 |

(注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

投資環境

国内株式市場は上昇しました。期初は米トランプ政権の関税政策を背景とした景気の先行き不透明感の高まりから下落する局面もありましたが、直後に日米相互関税の上乗せ分が90日間停止されたことなどを受けて反発しました。その後は堅調な企業業績や高市氏の首相就任による成長志向政策への期待、衆院選での自民党の圧勝などを背景に上昇基調を維持しましたが、期末にかけては中東情勢の緊迫化や原油高の長期化への懸念から下落しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

期初から、日経225インデックスマザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。期半ばにマザーファンド受益証券の入れ替えを行い、その後はインデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持しました。

●インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド

ベンチマークである日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果を目標に運用を行いました。ベンチマークに採用されている個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行い、採用銘柄の入れ替えなどにも適宜対応しました。また、現物株式と株価指数先物を合わせた実質的な株式の組入比率を高位に維持することにより、連動性の維持に努めました。

●日経225インデックスマザーファンド

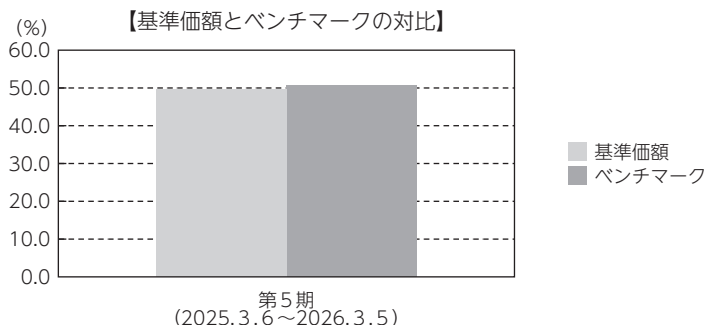
ベンチマークである日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果を目標に運用を行いました。ベンチマークに採用されている個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行い、採用銘柄の入れ替えなどにも適宜対応しました。また、現物株式と株価指数先物を合わせた実質的な株式の組入比率を高位に維持することにより、連動性維持に努めました。

2025年8月15日に現物株式を全て売却し、以降はキャッシュを中心とした運用に切り替え、9月30日に繰上償還しました。

ベンチマークとの差異について

日経平均トータルリターン・インデックスは前期末比で50.6%上昇しました。

当ファンドは日経平均トータルリターン・インデックスを0.9%下回りました。この差異は、主に、信託報酬やその他費用、有価証券売買時の売買委託手数料等などのマイナス要因によるものです。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項目 | 当期 |
|------------|-------------------------|
| | 2025年3月6日 ～2026年3月5日 |
| 当期分配金（税引前） | －円 |
| 対基準価額比率 | －% |
| 当期の収益 | －円 |
| 当期の収益以外 | －円 |
| 翌期繰越分配対象額 | 10,668円 |

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

- 当ファンド
インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持します。
- インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド
ベンチマークである日経平均トータルリターン・インデックスに採用されている個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行い、また、現物株式と株価指数先物を合わせた実質的な株式の組入比率を高位に維持することにより、ベンチマークに連動する投資成果をめざします。

お知らせ

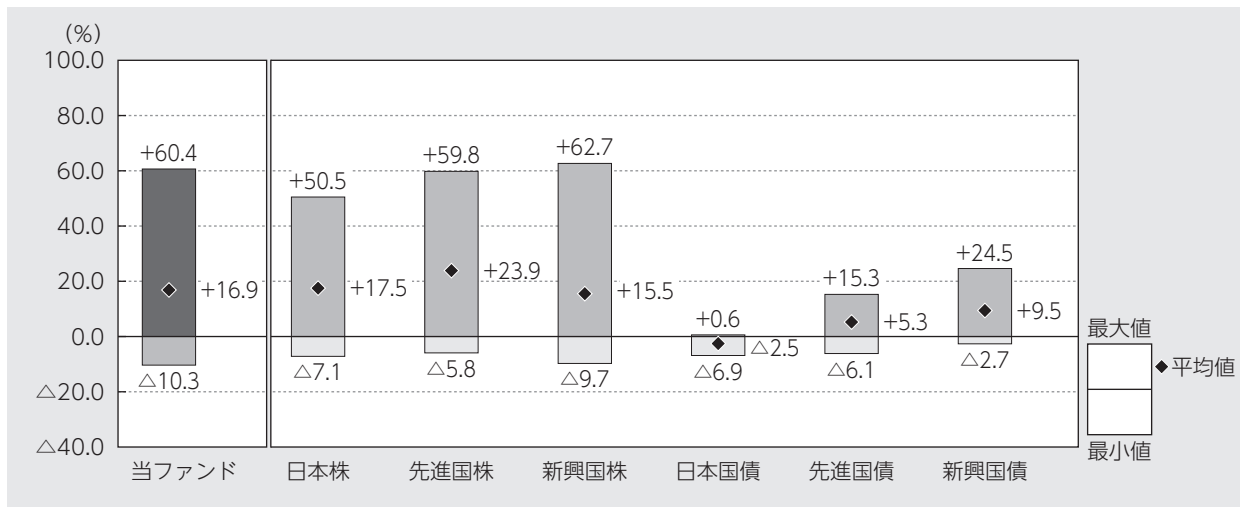
約款変更のお知らせ

- 当ファンドが投資対象とする「インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。
(2025年4月1日)
- 委託会社が「Pay Pay アセットマネジメント株式会社」から「アセットマネジメントOne 株式会社」に変更となりました。
- ファンドの名称が「Pay Pay 投信 日経225インデックス」から「インデックスオープン・日経225」に変更となりました。
- 信託事務等の諸費用において、法定開示にかかる費用を「ファンド負担」から「委託会社負担」に変更しました。
- やむを得ない事情が生じた場合に、販売会社で受付けたファンドの取得・一部解約の申込みを委託者が取り消すことができる旨の追加を行いました。
- 電子公告のアドレスを<https://www.am-one.co.jp/>に変更しました。
- 主要投資対象に「インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド」を追加するため、約款に所要の変更を行いました。
(2025年8月12日)
- 主要投資対象から「日経225インデックスマザーファンド」を削除するため、約款に所要の変更を行いました。
(2025年9月30日)

当ファンドの概要

| | | |
|--------|--|--|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式／インデックス型 | |
| 信託期間 | 2021年3月8日から無期限です。 | |
| 運用方針 | 日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果をめざして運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | インデックス オープン・ 日経 225 | インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド 受益証券を中心に投資します。 |
| | インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド | わが国の金融商品取引所上場株式のうち、日経平均トータルリターン・インデックスに採用された銘柄を投資対象とします。 |
| 運用方法 | マザーファンド受益証券を中心に投資し、わが国の金融商品取引所に上場されている株式のうち日経平均トータルリターン・インデックスに採用されている銘柄に実質的に投資を行い、日経平均トータルリターン・インデックスに連動する投資成果をめざして運用を行います。なお、株式への投資に代えて、上場投資信託証券や株価指数先物取引を利用する場合があります。 マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 | |
| 分配方針 | 決算日（原則として3月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、収益の分配を行う方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。 | |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2021年3月~2026年2月 (2021年3月~2022年2月はベンチマークのデータ)

代表的な資産クラス : 2021年3月~2026年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債……FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2026年3月5日現在)

◆組入ファンド等

(組入ファンド数：1ファンド)

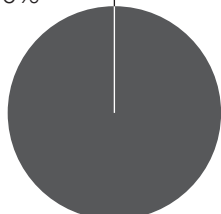
| | 当期末 |
|--------------------------------|-----------|
| | 2026年3月5日 |
| インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド | 100.0% |
| その他 | 0.0 |

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

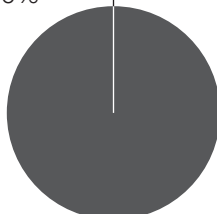
その他
0.0%



親投資信託受益証券
100.0%

◆国別配分

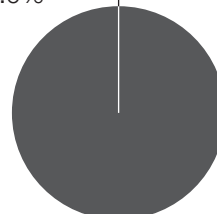
その他
0.0%



日本
100.0%

◆通貨別配分

その他
0.0%



日本・円
100.0%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

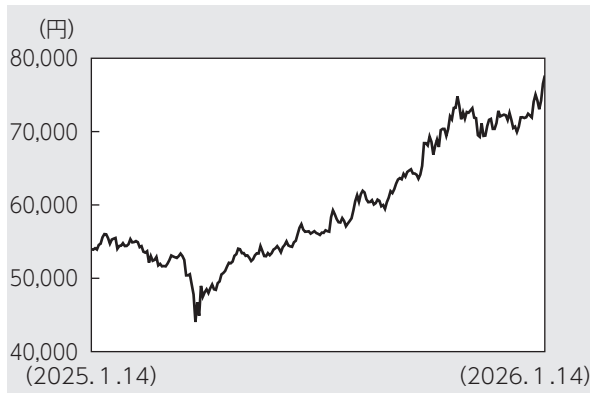
| 項目 | 当期末 |
|------------|----------------|
| | 2026年3月5日 |
| 純資産総額 | 5,626,952,569円 |
| 受益権総口数 | 2,722,488,377口 |
| 1万口当たり基準価額 | 20,668円 |

(注) 当期中における追加設定元本額は2,578,634,104円、同解約元本額は2,017,108,908円です。

組入ファンドの概要

[インデックス マネジメント ファンド 225 マザーファンド] (計算期間 2025年1月15日～2026年1月14日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

| 銘柄名 | 通貨 | 比率 |
|---------------|-------|-------|
| アドバンテスト | 日本・円 | 10.9% |
| ファーストリテイリング | 日本・円 | 9.3 |
| 東京エレクトロン | 日本・円 | 7.5 |
| ソフトバンクグループ | 日本・円 | 6.1 |
| ファナック | 日本・円 | 2.1 |
| KDDI | 日本・円 | 1.9 |
| TDK | 日本・円 | 1.8 |
| 信越化学工業 | 日本・円 | 1.6 |
| リクルートホールディングス | 日本・円 | 1.6 |
| 中外製薬 | 日本・円 | 1.5 |
| 組入銘柄数 | 225銘柄 | |

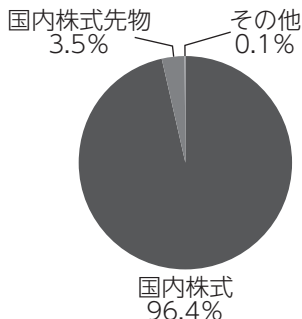
◆1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | |
|---------------------------|-----------|-------------------|
| | 金額 | 比率 |
| (a) 売買委託手数料 (先物・オプション) | 0円 (0) | 0.000% (0.000) |
| 合計 | 0 | 0.000 |
| 期中の平均基準価額は59,764円です。 | | |

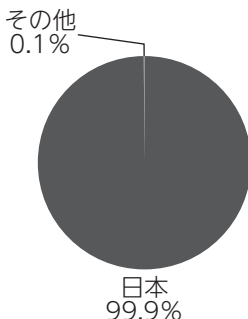
◆組入上位銘柄 (先物)

| 銘柄名 | 売買 買建 | 比率 |
|-------|----------|------|
| 日経平均 | | 3.5% |
| 組入銘柄数 | 1銘柄 | |

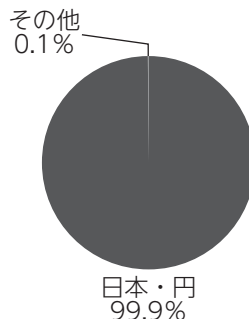
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●日経平均トータルリターン・インデックス

「日経平均株価」および「日経平均トータルリターン・インデックス」（以下、「日経平均株価」といいます。）に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。株式会社日本経済新聞社は「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延または中断に関して責任を負いません。また、当ファンドについて、株式会社日本経済新聞社は一切の責任を負うものではありません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

